



北陸管内の経済情報

(全国財務局長会議資料)

- I. 最近の北陸財務局管内の経済情勢
- II. 地価を通してみる地域経済の動向と地域活性化の取組
- III. 令和6年能登半島地震以降の状況

令和7年1月30日

北 陸 財 務 局

【お問合せ先】
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 最近の北陸財務局管内の経済情勢

	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることから、 <u>緩やかに持ち直している</u>	<u>緩やかに持ち直している</u>		個人消費は、新車販売は持ち直しに向けた動きに一服感がみられるものの、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。生産活動は、化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱含んでいることなどから、全体では持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

〔先行き〕雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
個人消費	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	
雇用情勢	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

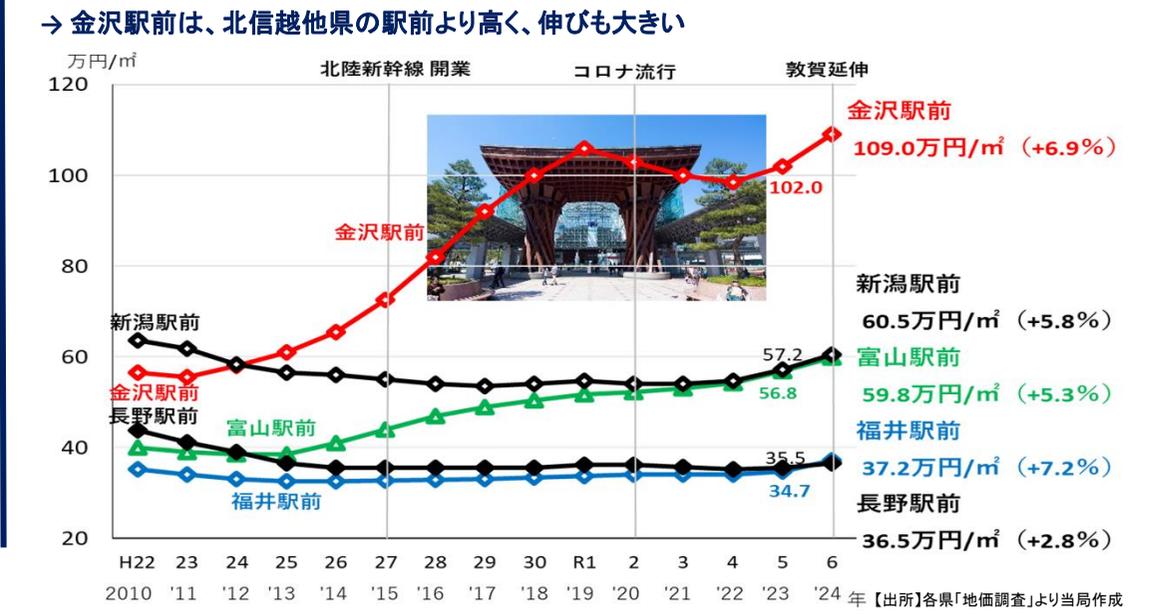
※ 7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

11. 地価を通してみる地域経済の動向と地域活性化の取組

▶ **金沢の地価、インバウンドがひと押し** 

～ 地域資源の磨き上げと誘客戦略が、観光消費を増やし、産業を産み育てる～

1. 地価の推移(各駅から直近の商業地)

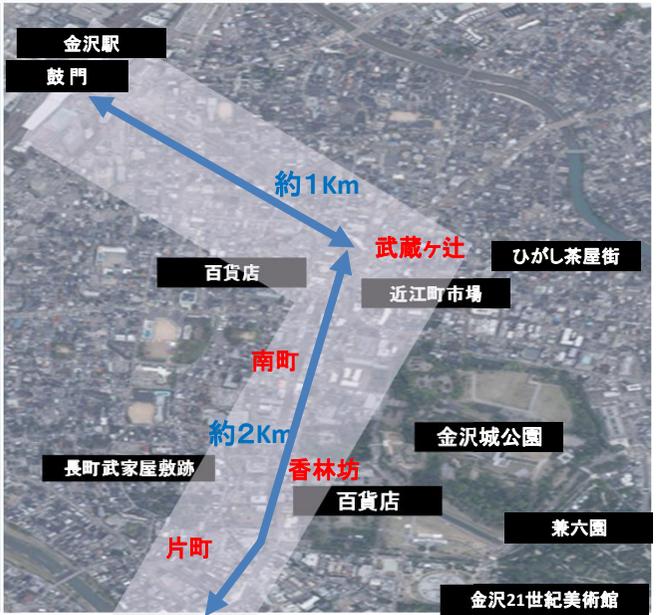


2. 地価上昇の背景

■ 上昇地点は、観光が盛んで、人流が増加している場所。

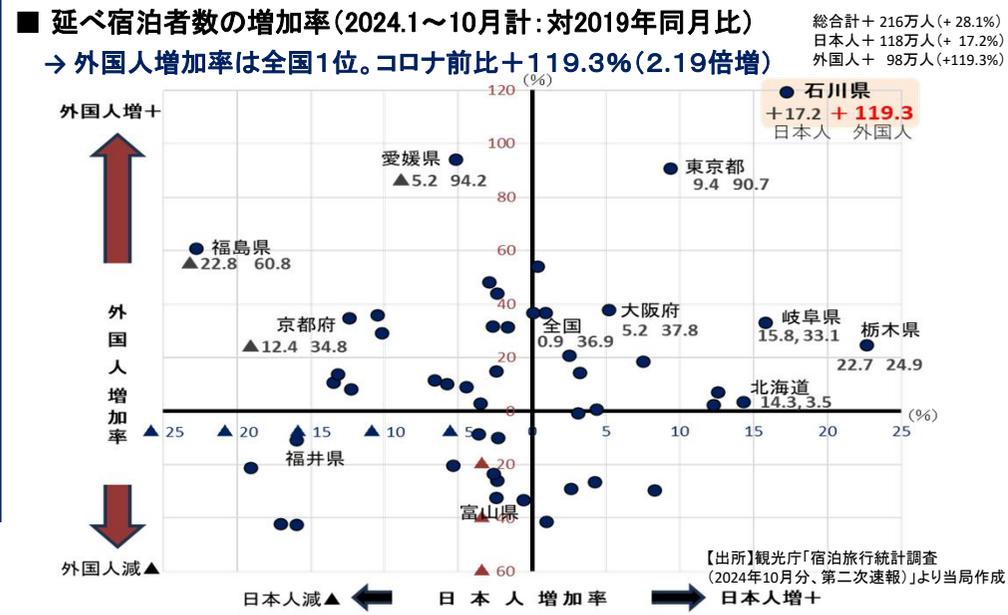
金沢の商業地では、ひがし茶屋街周辺の伸びが顕著。また、兼六園や金沢駅東口、武蔵ヶ辻も上昇が目立つ。繁華街の片町もコロナ以降客足が減少していたが、観光客が牽引する形で客数は相当回復。テナントも空きが減り賃料も回復傾向。

また、**地方都市の中でも突出して外国人観光客から注目**されている。【不動産鑑定士】

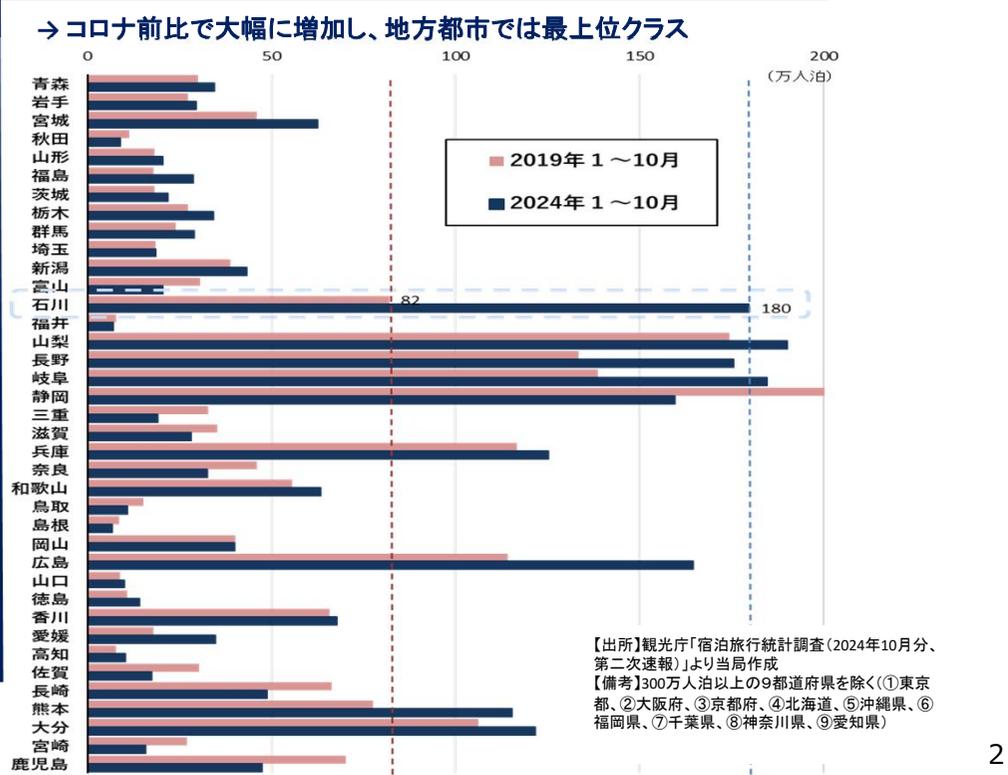


【出所】背景は「地図・空中写真閲覧サービス」(国土地理院)をもとに当局作成

3. 人流増加の状況(コロナ前→足下・増加率)



4. 外国人の延べ宿泊者数(コロナ前⇔足下)



II. 地価を通してみる地域経済の動向と地域活性化の取組

5. 国籍・地域別の動向

(1) 外国人延べ宿泊者数の国・地域別割合

→「欧州」割合、「欧州+北米豪」割合は全国2位



【参考】外国人延べ宿泊者数 (2023)

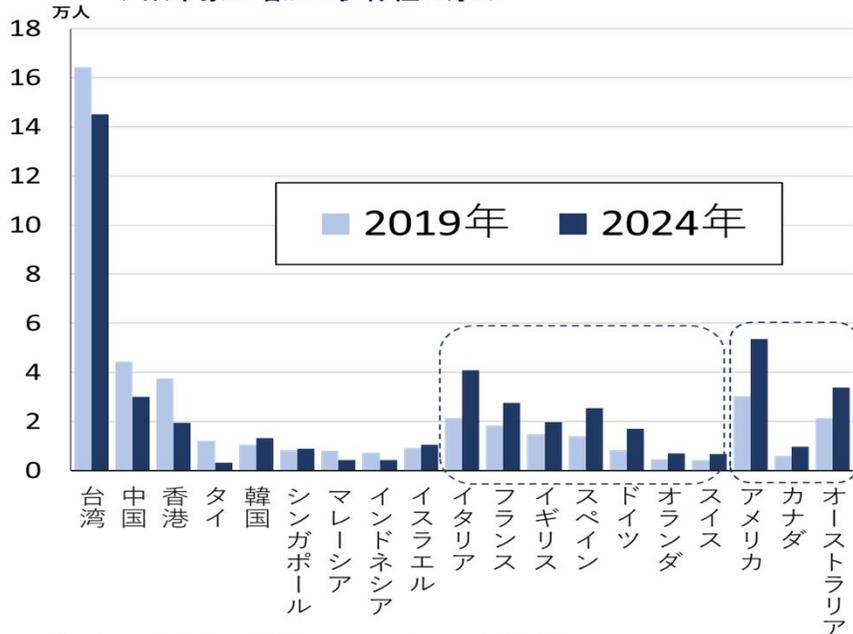
(人泊)

順位	都道府県	イタリア	フランス	スペイン
1	東京都	441,260	666,430	360,220
2	京都府	286,660	315,810	240,230
3	大阪府	82,110	127,580	82,020
4	石川県	46,600	53,680	27,720
5	広島県	32,700	46,030	26,750
6	岐阜県	24,350	35,830	26,510

【出所】観光庁「宿泊旅行統計調査(2023年確定値、従業者数10人以上の施設)」より当局作成
【備考】その他には、アジア、欧州、北米豪であっても記載のない国籍・地域及び国籍が不明な者が含まれる。

(2) 兼六園・外国人入園者数

→ 欧米豪の増加で多様性に厚み



【出所】石川県観光データ分析プラットフォーム「Milli」より当局作成
【備考】各年いずれか5千人以上の先を対象

6. インバウンド増加の背景

① 金沢の歴史資産・地理

- 行動分析すると、兼六園、長町武家屋敷跡、古い街並みなど「和」を感じられるところが人気【大学研究者】
- 京都・公家文化とは異なる「嗜みとしての武道・サムライ文化」を体感でき、混雑感の無いところも人気の一つ【観光協会】
- 新幹線の金沢開業（H27）が大きい。東京からのアクセスが良く、また、欧米客には伝統文化の根付きも人気の理由【伝統工芸品製造】



② 広域連携の推進

- 広域連携の推進も奏功。例えば、本物の日本を体感できる「北陸・飛騨・信州3つ星街道」をPR。白川郷・高山などを巡るツアーが人気【観光協会】



【画像提供】一般社団法人 金沢市観光協会

③ 地域性のある体験型商品の拡充

- 当地でしかできない工芸体験の豊富さも人気の背景【旅行企画】
- お座敷遊び、伝統工芸、武道など体験型商品が増えており、工芸作家の工房訪問など本物志向の商品も人気【観光協会】



④ 誘客ターゲットの明確化

- 芸術文化、歴史、食などで親和性の高いイタリア、フランス、スペインに重点を置き、継続的に現地に外向き豊富な商品をPR【観光協会】
- 行政・関係機関による戦略的な誘客が実を結んでいる【旅行企画】

⑤ SNSによる伝播

- インフルエンサーの活用もメディアプロモーションの一つ【観光協会】
- 古い街並みや混雑の無さがSNSで発信され、インバウンドの来訪増に繋がっている【不動産鑑定士】



⑥ 2度目・3度目の訪日客の増加

- 東京、京都等は観光済み。訪日2度目、3度目の訪問地に金沢を選んでいるようだ【伝統工芸品製造】



⑦ 世界で相次ぐ高評価

- ~2024.10米有力旅行メディア「ナショナルジオグラフィック(2025年に行くべき世界の旅行先25選)」ほか~
■ 世界に見つかってしまった【大学研究者】

▶ ①地域資源の ②③磨き上げと ④⑤誘客戦略に、⑥⑦世界が反応

II. 地価を通してみる地域経済の動向と地域活性化の取組

7. 地域への効果

(1) 観光消費額の増加

- 欧米豪の宿泊客が増え、平日の稼働率が上がっており有難い【シティホテル】
- 訪日ツアー客が増加しており、九谷焼の売上げが増加している【伝統工芸品販売】
- 国内外問わず観光客は値段を気にせず注文してくれる。足下では欧米客が明確に増えており、インバウンドの寄与度が高まっている【回転寿司】
- 欧米豪の来客が増加しており、宝飾品や化粧品に動き【百貨店】

(2) 新ビジネスの創出、伝統産業の振興

- 握り寿司の体験や、伝統工芸品の見学・制作ツアーなど体験ツアーも人気で、体験後に数十万円の商品を購入されるケースもある【旅行企画】
- 体験型アクティビティを企画する方が増えており、公式サイト「Visit Kanazawa」への掲載依頼が増加している【観光協会】
- 外国人観光客から、新商品が「かわいい」と好評。購買力の高さも実感し、海外挑戦のきっかけの一つとなった【日用品製造】

【株 箔一（金箔箔の製造・販売）】

- インバウンドによる見学や金箔貼り体験、工芸品の買い物が増えており、先日も数百万円の金屏風が複数売れた。
コロナ前は、中国、香港、台湾などアジアが主力であったが、コロナ後はアメリカが圧倒的に多く、カナダ、オーストラリアが続いている。

◇ 新たな取組 ◇

R6年11月から、本物志向の外国人観光客をターゲットとした「金箔貼り体験」を開始。これまでのシンプルな体験（500円～2,600円）に加え、新たに歴史的建造物のなかで、職人と同じ道具・材料を使用する「本物」の文化観光体験プログラムを提供（1万5千円）。



【写真提供】株箔一

- 台湾の富裕層の利用が多く、また、欧米客からも人気。
よりリアルな土地の生活文化に触れたい、その土地でしか経験できない文化体験をしたいという要望が増えている。「文化・産業・体験」観光を組み合わせたプランを次世代型観光として推進していきたい。

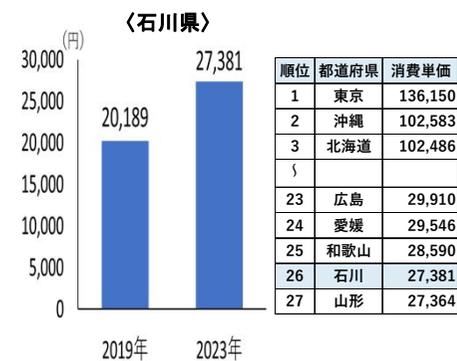
8. 今後は・・・

- 金沢は観光資源が集積しており、強みでもあるが1日で巡ってしまう。例えば、工芸をテーマに北陸三県で連携して、周遊し滞在日数を伸ばす取組が必要【旅行企画】
- 早朝・夜間の体験型商品の拡充、広域連携の一層の推進などによって、宿泊滞在日数を延ばしたい【観光協会】
- 従来の「何でもどこでも詰め込む」旅行ツアーは好まれない。特に、欧米の観光客には「本物」が求められており、こうしたニーズを汲み取って提案し、高付加価値化を図っていくことが求められている【旅行企画】

【参考】平均泊数（訪日外国人）



【参考】旅行消費単価（訪日外国人）



【出所】観光庁「インバウンド消費動向調査（旧 訪日外国人消費動向調査）」より当局作成
【備考】平均泊数：訪問地別平均泊数【観光・レジャー目的】
消費単価：訪問地別1人1回当たり旅行消費単価【観光・レジャー目的】

- 能登と金沢をセットにした観光客が減り、金沢駅前の客数は減少【小売】
- まだ能登との旅行商品が本格的に組めない【旅行代理店】
- 能登は日本の原風景として人気。復旧・復興の進展に期待したい【旅行企画】

【参考】金沢観光客（日本人）の「再訪時の周遊観光地」

n=852人

		再訪時に周遊したい観光地（単位%）								
		金沢のみ	能登	加賀	白山	岐阜	富山	福井	その他	不明
金沢	→	24.9	48.4	27.0	6.3	20.2	32.3	20.8	0.7	5.3

【出所】金沢市「金沢市観光調査結果報告書（令和5年）」より当局作成

III. 令和6年能登半島地震以降の状況（被災地）

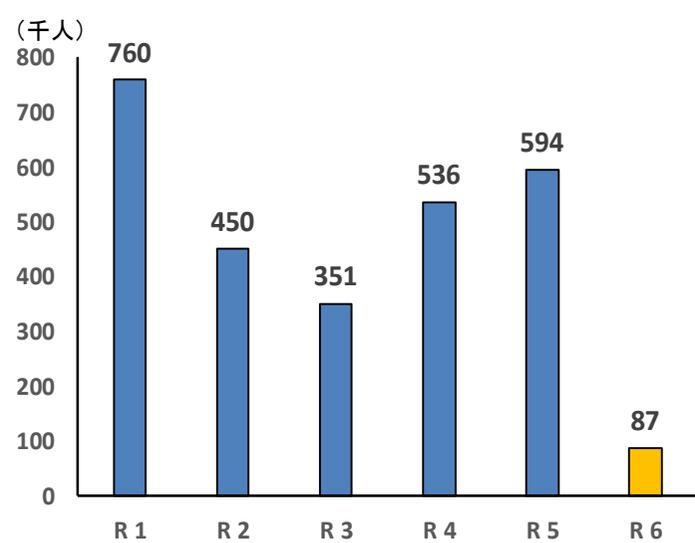
1. 被災者等の状況

避難者数	最大	現状 (12/26)
地震 (1/1)	約42,800人	約882人
豪雨 (9/21)	約1,560人	約279人
応急仮設住宅	最大	現状 (12/23)
地震 (1/1)	6,882戸	全戸完成済
豪雨 (9/21)	286戸	全戸着工済
公費解体数	中間目標(12月末)	実績 (12/22)
-	12,445棟	13,547棟
解体率41.8%		
水道（断水）	最大	現状
地震 (1/1)	約11万戸	断水解消 (5/31)
豪雨 (9/21)	約5千戸	断水解消 (12/20)
土砂崩れ等による復旧困難地区691戸(12/23時点)を除く		
事業者の営業再開	R6.6月時点	R6.12月時点
能登6市町全体	約65%	約80%

【出所】 石川県資料(12/26公表)より当局作成

- ✓ 住家被害が10万棟を超えるなか、1,000名以上が避難
- ✓ 公費解体は、今年10月の解体完了に向けて取組を進めている

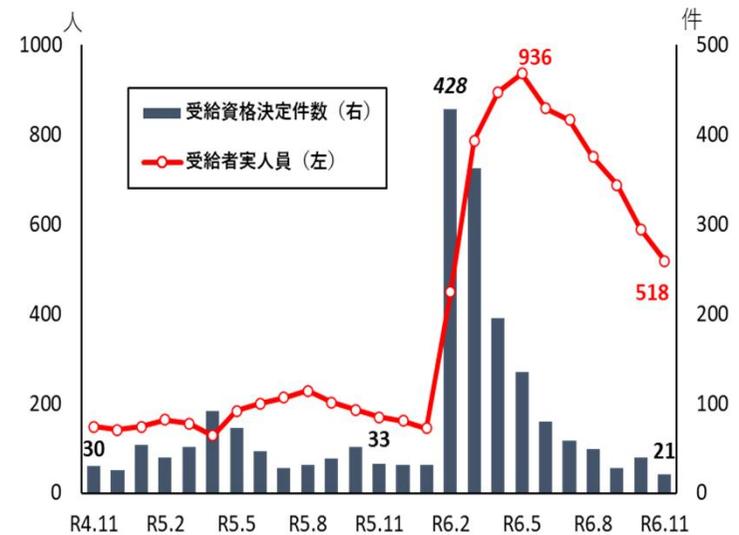
2. 和倉温泉（七尾市）の宿泊者数



【出所】 R1～R5は石川県資料、R6は和倉温泉旅館協同組合からのヒアリングにより当局作成

- ✓ 北陸の代表的温泉地・和倉温泉では、21旅館のうち4旅館で一般客の受け入れを再開。今年中に更に5旅館で営業再開を予定
- 温泉地は営業再開の途上で、従業員のつなぎ止めが課題【経済団体】

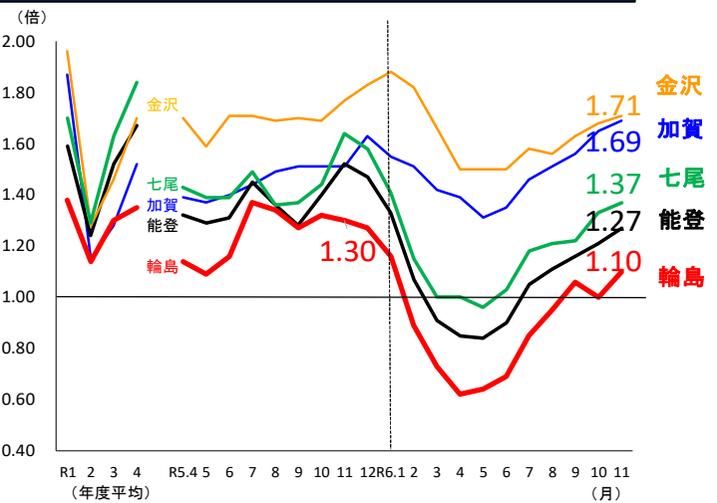
3. 雇用保険 受給資格決定件数等(奥能登)



【出所】 ハローワーク輪島「業務月報(各月)」より当局作成
【備考】 エリアは、輪島市、珠洲市、能登町、穴水町

- ✓ 資格決定件数は減少に転じ、前年並みまで落ち着き
- ✓ 受給者数も、6か月連続で減少し、ピーク比▲4割減

4. 有効求人倍率（石川県：原数値）



【出所】 石川労働局「最近の雇用失業情勢」より当局作成
【備考】 地域は公共職業安定所別とした（能登地域＝七尾、輪島、加賀地域＝白山、小松、加賀）

- ✓ 輪島では、求人減、求職増が落ち着きつつあり、3か月連続で1倍超
- 能登の大工はほとんどが高齢者で、人手確保が課題【ハウスメーカー】

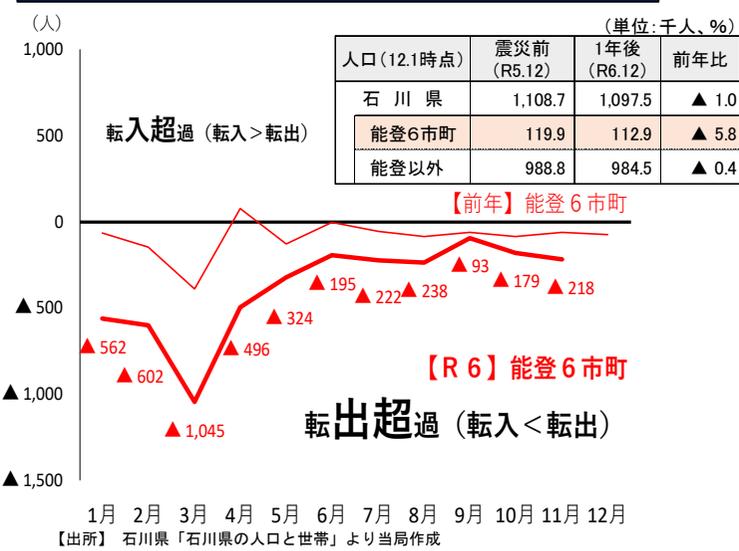
5. 新設住宅着工戸数（石川県：総戸数）



【出所】 石川県「石川県新設住宅着工戸数、市町別新設住宅着工戸数」より当局作成
【備考】 みなみ能登=羽咋市、かほく市、津幡町、内灘町、宝達志水町、中能登町。加賀=小松市、加賀市、白山市、能美市、野々市市、川北町、とした。

- 能登で建替え需要や新居の相談が多い。解体手続き中の方も多く、しばらくは被災者からの需要が続く見通し【ハウスメーカー】
- 被災者が金沢や羽咋のモデル住宅を購入する場合もある【ハウスメーカー】

6. 人口推移（転入－転出）

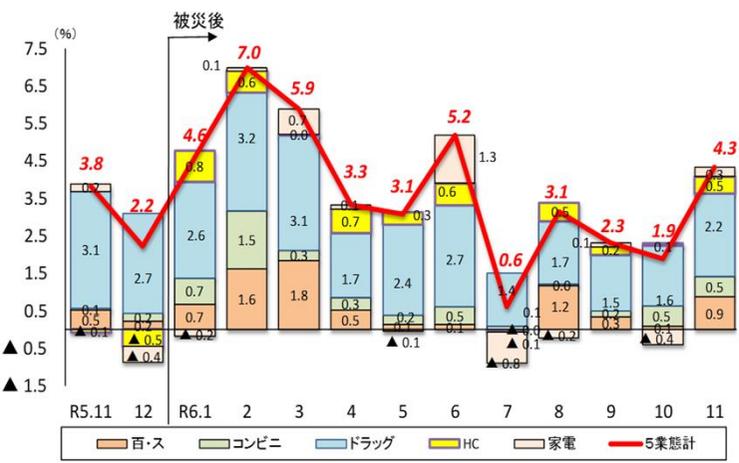


- ✓ 被災以降、転出者は増加し、人口減少が進んでいる
- 避難後に戻らない社員も多く、社員数は震災前比で▲5%【製造業】
- 個人商店の事業者は、住民がどこまで残るか不安が強い【経済団体】

III. 令和6年能登半島地震以降の状況（北陸地域）

1. 個人消費（北陸）

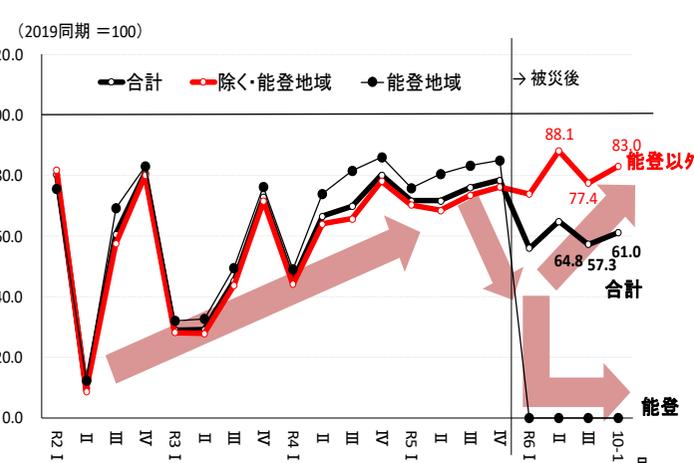
(1) 物販主要5業態の販売額(前年同期比:寄与度)



【出所】経済産業省「商業動態統計調査」より当局作成
 【備考】百貨=百貨店・スーパー、コンビニ=コンビニエンスストア、ドラッグ=ドラッグストア
 HC=ホームセンター、家電=家電大型専門店

- 被災家屋の復旧需要でDIY用品の売れ行きが良い【ホームセンター】
- 被災地支援者の来店が続いている【コンビニエンスストア】

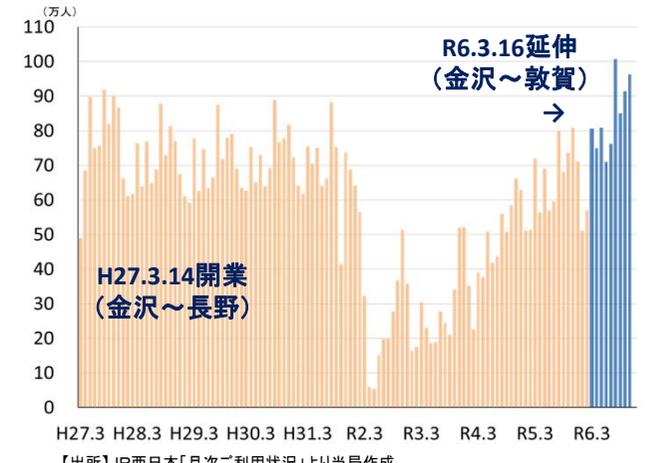
(2) 主要温泉地の宿泊者数



【出所】北陸観光協会資料より当局作成
 【備考】R6.1以降の和倉温泉・輪島温泉は未集計

- 敦賀延伸効果が続いており、関東客が大幅に増加【福井:温泉地】
- インバウンドも高級旅館を中心に徐々に増えている【加賀:温泉地】

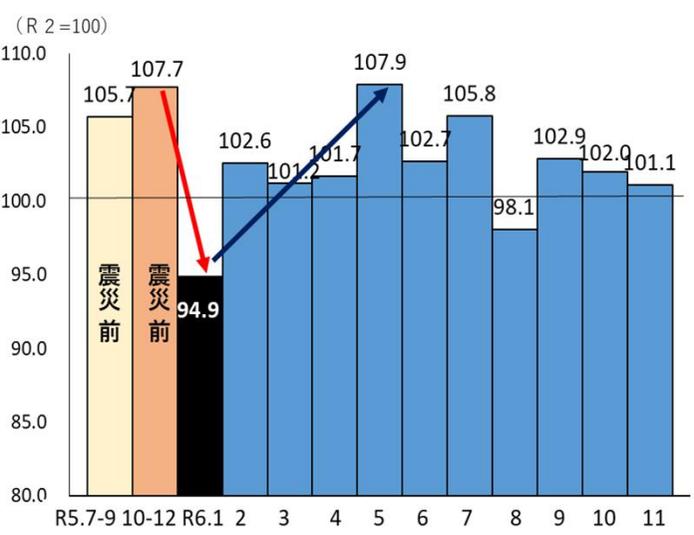
(3) 北陸新幹線の利用者数



【出所】JR西日本「月次ご利用状況」より当局作成
 【備考】上越妙高～糸魚川間の断面輸送量

- ✓ 利用者数は、開業初年度を上回り、過去最多
- 延伸後、関東や関西客の増加に加えて、実績がほぼ無かった長野からの観光客もみられるようになった【旅客】
- 延伸効果で主に関東からの旅行者が増加している【旅行会社】

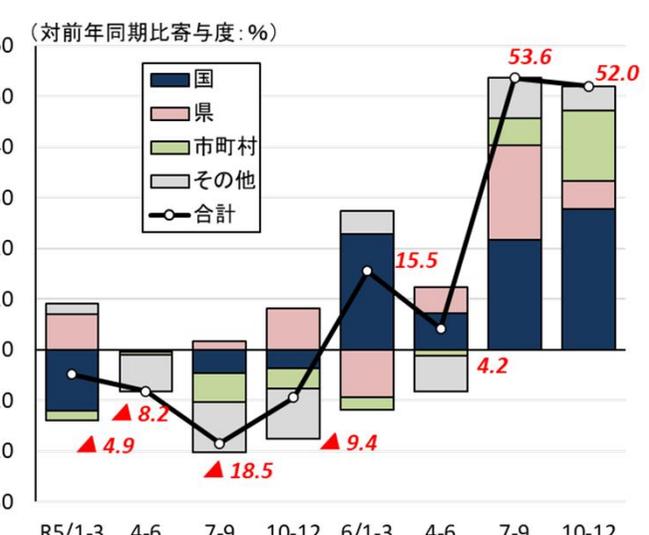
2. 生産活動（北陸・鉱工業生産指数）



【出所】中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局資料より当局作成

- 7月に生産設備の復旧工事は完了。生産水準は地震前に戻っている【繊維】
- 5月に全面復旧し、その後挽回生産を実施したが、足下では、中国向けの受注が弱く、伸び悩んでいる【電子部品】

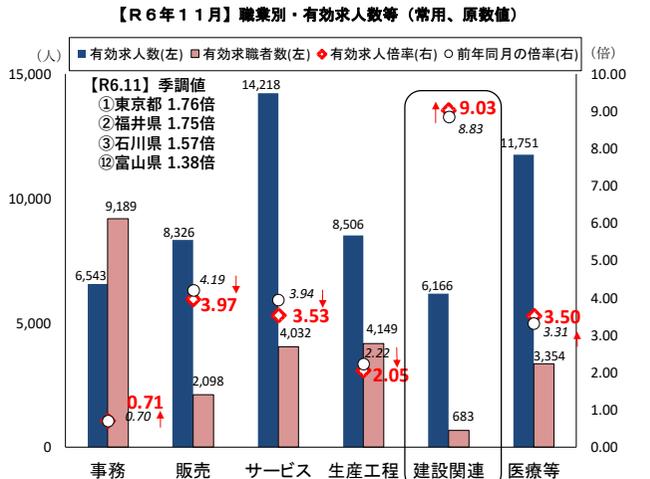
3. 公共事業（北陸・前払金保証請負金額）



【出所】北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱資料より当局作成

- 公共施設の復旧など地震関連の調査・設計業務が増加している【建設】
- 復旧需要で増収増益になっている【建設】

4. 雇用情勢（北陸）



【出所】厚生労働省、各県労働局資料より当局作成
 【備考】石川、富山の建設関連は「建設・採掘事業者」「建築・土木・測量技術者」、医療等は「医師等」「保健士等」「医療技術者」「その他の保健医療従事者」「介護関係」。福井の建設関連は「建築・土木技術者」「建設・土木・電気工事」、医療等は「保健・医療・福祉の職業」「介護・保健医療サービス」として集計。なお、福井県の職業別・有効求人数は就業地別の数値

- 復興関連工事の受注が増加し人手不足が続いているが、募集をかけても、なかなか採用できない【建設】
- 人手不足から稼働できない客室がある【福井:温泉地】